

令和元年度 修了の日 あいさつ

令和2年3月27日  
校長 土井 智喜

おはようございます。まず、みなさんに報告です。

3月16日に、第73回卒業証書授与式を、卒業生、保護者の方々、先生方で行いました。練習やりハーサルも十分できず、事前に簡単な説明をただけでしたが、3年生は大変立派な態度で式に臨んでくれました。また、在校生を代表して式に参加し、心のこもった送辞を述べてくれた平山さん、ありがとうございました。いつもだったら、巣立っていく3年生の姿を見て、その姿を自分に置き換え気持ちを新たにすることができるのですが、今年はそれができませんでした。

大変残念なことです。今回の事を試練だと考え乗り越えていきましょう。1年後2年後は、皆さんが卒業する側になります。その時に今年の3年生のようにやるべき事をやり終えたと言えるようにこれからの毎日を過ごしてください。

さて、時が経つのは速いもので、今日は各学年の修了の日です。修了の日とは、それぞれの学年を振り返って次年度に向けての決意と覚悟をする節目の日です。

パナソニックの創業者である松下幸之助さんという人が、節目の日について次のような言葉を残しています。「他人と自分を比較して仮に劣っていても決して恥ずることではない。けれども、去年の自分と今年の自分を比較して、もし今年の自分が進歩していないとしたら、それこそは恥ずるべきことである」と。

私たちは、どうしても自分と他人との違いは気になってしまうものです。しかし、本当に比べるべきは他人ではなく、過去の自分だと松下さんは言っているのです。今日は、自分の一年間を振り返り、それ以前の自分と比べ、どれほど成長できたかを客観的に見つめ直す日にしてください。先生や保護者の方、友達にも聞いてみるのもいいでしょう。そして、次の1年（学年）では自分はどうか、また自分の将来はどうするのかを是非、この機会に考えてください。

春休みの過ごし方については、後ほど放送で話があります。新型コロナウイルス感染症との戦いは、もうしばらく続きそうです。まだまだ、気が抜けない状況です。もう少しの間、今までどおりの生活を続けてください。

次にここに集まるときは、それぞれ進級することになります。また、4月9日には、98名の新入生も入学してきます。その新入生とともに、力を合わせさらに延岡中学校を発展させていきましょう。それでは、この休み期間中、事故や怪我などなく健康に過ごし、心の準備をしっかりと全員が4月7日の始業式にそろふことを願い、修了式の挨拶とします。